



支部長 挨拶

相変わらずのコロナ禍のもと、先が見えそうでまったく変わらない現実に翻弄される毎日です。

それでも春が来て梅も咲き、岡山の後樂園は3月に入り再開をしました。白梅も紅梅も満開の3月8日、やっぱりこの香りに包まれなければな、写真ではわからん！と実感しました。

オンデマンドではありますが昨年は北陸支部主催で全国大会が開催され、2022年度は中国支部主催の全国大会が準備されています。パソコンの画面に小さく入る免許証の写真のような顔写真で友人を探すのもぼつぼつしんどくなってきました。でもそれぞれの研究会は講習会を開催し、会員の勉強の場の提供に苦心惨憺しています。なんとかzoomの中でできる事をさがす毎日ですね。コロナの感染力が増すと反比例して人に及ぼす力が弱まるんだそうです。元のままかどうかはわからないにしても、動きやすくなる日が来ることを期待して頑張りましょう。

2022年3月 支部長 三崎めぐみ

2022年度代議員選挙について

2022年1月に2022年度代議員選挙が行われました。結果は以下の通りとなっています。

四国支部の会則の変更も含め、新体制での四国支部でのご活躍を期待しております。

定数2名(50音順) 岩永十紀子 上羽(糟谷)由香

事務局 786-0303 香川県仲多度郡まんのう町七箇 2616-1 栗田京子気付

TEL : 090-8979-7499 FAX : 0877-77-2136

E-mail : shikoku.mt@gmail.com

ホームページ : <http://www.jmta-shikoku.sakura.ne.jp>

Facebook ページ内で 『日本音楽療法学会四国支部』 検索

四国支部ラーニング・サポート・センター 第2回講習会のご報告

四国支部 LSC 運営委員会委員長

上羽（糟谷）由香

2022年2月26日（土）に、四国支部の第2回LSC講習会をZOOMで開催しました。四国4県からご参加いただいた皆さま、年度末のご多用の中、ありがとうございます。私個人の意見としても、参加者の皆さまにご回答いただきましたアンケート結果からも、大変有意義な講習会であったと思います。一番うれしかったことは、第1回の講習会からリピートでご参加くださった方が3名もいらっしゃったことです。まだ四国支部にLSCを創設して1年目ですので、運営委員の先生方とともに試行錯誤で運営しておりますが、四国支部会員にとって有益な研鑽の場として定着していくかもしれないと勇気づけられました。支部会員の皆さま、今後も開催してまいりますので、近いうちにぜひ1回はご参加ください。そして研鑽の場として有益だと思われましたら、何度もリピート参加していただきたいと願っております。それによって、普段つながっていない支部会員の方々とも、縦横のつながりが拡がり、志を同じくする音楽療法士同士が支え合い学び合う関係が築かれていくことと思います。

今回の講習会では、合奏システム研究所の折山もと子先生によるワークショップと、栗田京子先生のファシリテートによるピア・スーパービジョンを行いました。折山先生には、「音楽療法の場をつくる」をテーマに、長年の実践研究で培ってこられた、対象者と音で深くつながっていく手法や人とつながる指揮の極意などについてご教示いただきました。先生の臨床場面の音声も非常に魅力的なものでした。参加者の皆さまからは、「セッションにおける意識や、セラピスト側の日々の研鑽の面において、気づきが沢山あった。」や「（指示出しの）『予告』時の瞬間はとても大切なことに気づいた。技術や内容を工夫する事だけでなく、意識を向けることを実践してみようと思う。」とのご感想をいただきました。実践力の向上につながる、学びの多いワークショップでした。



ワークショップ中、下段中央が折山先生です(^^)

2つ目の枠では、ピア・スーパービジョンに取り組みました。事例を提供してくださった方に、この場を借りて、改めてお礼を申し上げます。音楽療法士であれば皆が感じたことがあるであろう課題について、参加者のさまざまな視点からのディスカッションが展開されました。ピア・スーパービジョンでの取り組みについては、当日スタッフとして参加された運営委員の雫裕子先生が寄稿くださっているので、そちらをご覧ください。参加者の皆さまからは、「同じような悩みや問題意識を共有できてとても良かった。」や「頭の中が整理できて、目標や目的を明確にすることが出来た。」、「日々勉強やアップデートしながら臨床に携わるセラピストが多く、良い情報交換や確認ができた。」、「自分のこれまでの振り返りにもつながった。」などのご感想がありました。

講習会全体の感想では、「とても良い雰囲気、仲間意識を感じられてよかったと思う。」、「離れた仲間同士が笑顔で様々共有できるいい機会をこれからもよろしくお願いいたします。」、「良い内容だった為、参加者の少なさが惜しいと思いました。」などのお声があり、今回の講習会も、LSCの目的「音楽療法士の臨床の質の向上」と「音楽療法士同士のつながりの促進・強化」に貢献できたのかなと思っております。運営委員への「ねぎらい」の言葉もたくさんいただきました。



ピア・スーパービジョン中

次回のLSC講習会は、8月に高知で開催されます支部大会と、9月に広島で開催されます全国大会の後、秋ごろの開催を予定しております。近くなりましたら支部ホームページ等でご案内いたしますので、どうぞご期待ください。

LSCにおけるピア・スーパービジョンについて

四国支部 LSC 運営委員会

雫裕子

第2回 LSC 講習会では、昨年8月の第1回と同様に、講義・ワークショップと合わせてピア・スーパービジョンが実施されました。

これまで、学会主催の養成講座やこうち音楽療法研究会、LSC ではスタッフとして計6回ピア・スーパービジョンに参加させていただきました。「ピア・スーパービジョンを受けたらどうなる?」「何が変わる? (何かいいことある?)」等を耳にすることがあります。数少ない参加回数ながら、毎回自分自身の振り返りや課題のあぶり出し・考察につながりました。その経験をご紹介できればと思います。

“音楽療法士はチャレンジャーだ”有志で実施している勉強会の際に聞いた言葉に大きくうなずきました。私は病院併設の通所リハビリテーションに勤務しています。音楽療法士として対象者の目標達成と生活の変容にどのように関わり、法人、ひいては社会にどれだけ貢献できるのか。また対象者を取り巻く医師・看護師・その他コメディカルと、いかに共通言語を持って協働するか。職業・学術・臨床的にもまだまだ発展中の音楽療法を日常的に実施するために、セッション内容や立ち位置など様々な事象に悩みながら試行錯誤の日々です。

今回のケースの中に、業務内容のバランスや記録にかかる時間についての話題提供がありました。詳しい内容は差し控えますが、音楽療法士のほとんどが悩むポイントではないかと思えます。多職種と協働すると、業務量や意識の違い、準備やフィードバックにかかる時間配分が異なり、周囲の仕事の流れと自分の納得点との折り合いをつける必要があります。このケースでは話題提供者の悩みと、自分自身の現状で合致する部分が多く、共感される場・仲間がいる安心感と力を得ました。音楽療法セッション同様、具体的な解決策や答えが出ないことを検討し続ける機会を持つことが、課題を見出し、考察を促すきっかけになるのだと思えます。構造化されたプロセスの中で自己を振り返ることで、感情や経験が偏りとなり、思考に影響していることにも気づかされます。

有志や研究会で実施するピア・スーパービジョンでは、個性や背景を把握している仲間と問題共有する良さがありますが、LSC ではより先入観なく新たな視点で、経験年数や領域を超えたディスカッションが可能で、それぞれにメリットがあります。

セラピストとしての自分自身を客観的に点検し、実施する音楽療法セッションが対象者にとってどのようなメリットがあるのか、気づきにつなげる方法としてピア・スーパービジョンの選択肢を加えてみてはいかがでしょうか。たくさんの方の LSC 参加をお待ちしております。

第17回日本音楽療法学会四国支部学術大会のお知らせ

第17回日本音楽療法学会四国支部学術大会

大会長 上羽(糟谷)由香

春爛漫の候、四国支部会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、3月上旬に、四国支部会員の皆さまには、今年度の四国支部学術大会のご案内を郵送させていただきました。このたび、案内チラシが完成しましたので、このニュースレターと同封させていただいております。周囲の方々に広くご案内いただけましたら幸いです。今大会では、「音・音楽による対話をもたらすもの～人は音楽療法に何を求めるのか～」をテーマに、大会長講演(市民公開講座)、教育講演(市民公開講座)、シンポジウム、研究発表などを企画し、活発な学術交流や情報収集、および成果発表の場となるよう、雫裕子実行委員長のもと準備を進めております。新型コロナの感染拡大が見通せない中ではございますが、高知県高知市内の広い会場で、できる限りの感染対策を講じて開催する予定にしております。皆さまと、お目にかかれる日を心より楽しみにしております。

開催要項は以前送付した案内パンフレット、同封の案内チラシをご覧ください。今後は四国支部ホームページにて、詳細や変更点等、随時掲載してまいります。ご確認いただけますよう、よろしく願いいたします。

四国四県の研究会 ～今年度の活動報告・来年度の活動予定～

香川音楽療法研究会

連絡先：Kagawa.rs.mt@gmail.com

2021年度活動実績

- ・6/6 高山仁先生「障害児、者の音楽療法」
- ・11/23 岩永先生栗田先生「初めての事例研究」
- ・3/27 新井隆俊先生「発達障害の理解と対応」
- ・香音カフェ (zoomでおしゃべり) 不定期に3回

2022年度活動予定

- ・5/5 今村ゆかり先生 精神科領域
- ・10月(日時未定)
- 大原昌樹先生「高齢者を取り巻く現実」
- ・2,3月に講習会予定

西瀬戸音楽療法研究会

連絡先：music.nishiseto@gmail.com

3月6日に勉強会を開催致しました。今回は、感染症専門医による最先端のコロナウイルスに関する講義と事例検討会でした。音楽療法における具体的な感染症対策もご指導頂き、今後の音楽療法活動への可能性が示唆され、また事例検討会においても活発な意見交換ができ、参加者の意識も前向きになり有意義な時間となりました。

2022年度も勉強会を実施します。

音楽を紡ぐ里・フロイデ

連絡先：freudi.music.therapy@gmail.com

2021年度は9回の講習会を開催しました。

2022年度も今年度同様に講習会を予定しています。

開催日：毎月第3日曜日(4, 8, 3月を除く)

10:00~13:00 全9回

場 所：いいのやま福祉会「野の花生活介護」内
音楽療法センター音楽を紡ぐ里フロイデ

講 師：児玉令江子先生

会 費：4000円

こうち音楽療法研究会

連絡先：kochi.ongaku.ryoho@gmail.com

2021年度講習会

5/9 智田邦徳先生「子供からお年寄りまで！

ともに作り上げる創造的な音楽療法」

12/5 細江弥生先生「高齢者領域の音楽療法：

多様なニーズと目的を視野に」

2021年度研究会会員限定勉強会

6/13「新しい時代の音楽療法を考える」

10/10「zoomで音楽体験」

2022年度の講習会、勉強会を現在計画中です。

編集後記

気がついたら、字で埋め尽くされたニュースレターになっていました。会員の皆様にお伝えしたいことがたくさんある証拠です。デザインもすっきり系にリニューアルしました。研究会の情報についても、内容を充実させましたので、皆様の勉強の機会につながれば幸いです。Facebookでは、新しい情報をアップしていきますので、まめにチェックしてください。ご意見等ありましたら、広報委員までお知らせください。



高知 佐川町 牧野公園の桜
「らんまん」ぜひご覧ください^^